

「この頃思ひごと」



院長 也
山下 雅也

春めくやホームに響くアナウンス

これは去年の四月、毎日新聞の俳句コーナーに初めて載せてもらった句です。春の旅立ちの気分、期待と不安、出会いと別れの予感…そうしたものがいくらか表現できているでしょうか。

いきなり趣味の話を始めてしまいました。が、小川軽舟という俳人の「俳句と暮らす」という本を読んで以来、俳句にはまっています。

「（俳句とは）日々の生活とともにあって、それを大切な思い出に変えてくれるものである」「なんでもない一日もまた自分

の生きた証だと考える人には、俳句はその一日の意味を教えてください。はすである」「（俳句と暮らす）小川軽舟 よし

季節の移ろい、流れ去る日々…。

一瞬一瞬、人は何かの印象を受け、何かを思っている…百万の文字を連ねてもそれを完全に記録することはできないが、言葉を選び抜けばわずかに十七文字でそれを思い出す「鍵」を作ることができる…そう知った時、俳句がとても面白くなってきました。

ここには毎日の精神科医療の仕事とも通じるものがあると感じます。一人の人を完全に理解することなどできません。しかし、その人との関係の中で一瞬間間見えた、言葉にならない「何か」を感じ取ること…精神科医療では、これがとても大事だと思います。それを感じ取る力をさらに育んでいきたいと思っています。これからも、どうかよろしくお願いいたします。

最後に私の好きな句を一つ紹介させていただきます。

パンにバタたつぷりつけて春惜しむ

（久保田万太郎）

職員紹介



医局
五十嵐 潤

昨年よりお世話になっております。五十嵐です。

コロナの影響で、沢山の制限を受ける大変な生活が続いています。常日頃から私たちの生活はいくつもの偶然が重なり合い、連鎖して作られていると考えています。そして、その偶然の中にどうにもならない諦めている状況を打開できる小さな希望もきっと存在するはず。です。

バタフライエフェクトという言葉があるように、ほんの僅かな出来事でも、巡り巡って未来が一気に変わることだと思っています。「もう無理だ」と嘆きたくなる状況に立たされても、皆さんと一緒に道を切り開くため知恵を振り絞り、手を取り合っ壁を乗り越えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

こもれびより こんにちは！

こもれびは、大村病院内の北側にある施設を管轄する部署になります。

北側駐車場の西位置に就Bこもれび、北病棟の北側にグループホームこもれび、大村病院の前の道を東へ渡ったところにグループホームひかりと、3つの施設があり、それぞれのサービスを提供しています。

・就労継続支援B型「就Bこもれび」



一般企業での就労が難しい方、離職された方、仕事をする事で社会的自立を目指したい精神障害者の方に対して働く場を提供しています。「就Bこもれび」での作業内容は院内喫茶、軽作業等。作業収入から適切な評価に基づいて工賃をお支払いしています。

・共同生活援助「グループホームこもれび」



「グループホームこもれび」では、主に精神科病院で長期入院をされていた方や、ご家族から自立して生活していきたいという方を対象に日常生活に必要な支援を提供しています。建物は2階建てで大村病院に隣接しています。

・共同生活援助「グループホームひかり」



精神症状が落ち着いていても、おひとりで自立生活を送ることに不安を感じる方は少なくないでしょう。「グループホームひかり」では、そのような方を対象に日常生活に必要な支援を提供し、自立をサポートしています。少人数で家庭的な雰囲気が特徴の共同生活です。

初診予約のご案内

当院の受診を初めてご希望される患者様、ご家族様、また、当院を受診されてから時間の経過した患者様、まずは当院へご連絡下さい。

連絡先 0794-82-1132（代表）

受付時間 平日 8：30～17：00

《 医療機関の皆さまへ 》

他医療機関からの受診依頼、入院、転院などのお問合せにつきましては、地域医療連携室あてまで、ご連絡頂きますようお願いいたします。

《 行政機関の皆さまへ 》

行政機関を通しての当院への受診依頼、入院、転院などのお問合せにつきましては、地域医療連携室あてまで、ご連絡頂きますようお願いいたします。

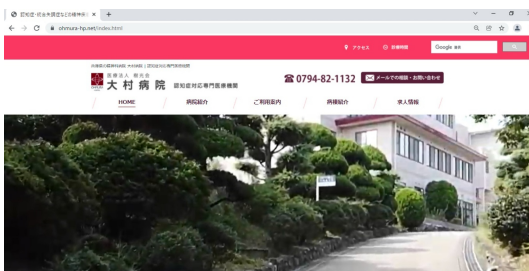
訪問看護ステーション あぷい

訪問看護ステーション「あぷい」は、当院に通院されている方をはじめ、退院後、地域で生活される方の生活をサポートする役割があります。

その人らしく生活の質を高めながら、安心して地域で生活が送れるよう支援しています。特に病状が不安定になりやすい、家族の支援が十分でない、生活リズムが上手く出来ないなど、様々な理由で病状が悪化しやすい方を対象とし、経験豊富な看護師が直接自宅に訪問して、バイタル測定や服薬確認、精神状態の把握をし、主治医との連携を密に行い、病状悪化を防ぐ支援を行っています。

入院から退院後へと切れ目のない関わり、支援を行うことで、利用される方々が家族や地域社会の中で、その人が生き生きといっそう快適な生活が送れることを目指しています。

大村病院・ホームページ紹介



大村病院では、当院についての情報を動画などを含めて、ホームページにて紹介しております。くわしくは下記URLをご参照下さい。

<https://www.ohmura-hp.net/>

大村病院基本理念

私たちは

- 1 医療を行うに当たり「ヒポクラテスの誓い」を、行動の倫理的基盤とし、常に自らの行為が「誓い」の精神にかなうように努めます。
- 2 慈愛に満ちた良質な医療を提供するために、専門職業人としての能力を研鑽するように努めます。
- 3 患者さま個人の尊厳に重きをおき、人権に配慮された親切で丁寧な対応をするように努めます。
- 4 医療を通して地域社会に貢献し、人々の健康維持、増進に寄与するように努めます。



医療法人樹光会 大村病院

〒673-0404 兵庫県三木市大村200番地
 電話：0794-82-1132 FAX：0794-83-5739
<https://www.ohmura-hp.net/>

お出かけスポット やなせ苑



黍田町・加古川右岸堤防近くにある浄化センターより始まる、35種260本の八重桜で構成された「桜つつみ」は約850mあります。桜つつみの入口には約7,000平方メートルの日本庭園「やなせ苑」があり、情緒ある日本庭園の美しさを味わうことができます。

※無料駐車場有

小野市黍田町 加古川上流浄化センター内
 公共交通機関 JR加古川線「市場」駅から徒歩5分

関連病院・施設等

デイケアセンターみちしば

〒673-0404 兵庫県三木市大村200番地
 電話：0794-82-1132 Fax:0794-83-5739

就労継続支援B型 こもれび

〒673-0404 兵庫県三木市大村1074番地190
 電話：0794-70-7115 Fax:0794-82-2173

グループホーム こもれび

〒673-0404 兵庫県三木市大村1074番地190
 電話&Fax：0794-82-2173

グループホーム ひかり

〒673-0404 兵庫県三木市大村1074番地223
 電話&Fax：0794-82-2173

訪問看護ステーション あぶい

〒673-0404 兵庫県三木市大村200番地
 電話&Fax:0794-83-6624

あぶい 居宅介護支援事業所

〒673-0404 兵庫県三木市大村200番地
 電話：0794-82-2726 Fax:0794-83-6624

小野市障がい者地域生活・相談支援センター

〒675-1380 兵庫県小野市中島町531番地
 福祉総合支援センター内
 電話:0794-63-1000 Fax:0794-63-6600

一般財団法人仁明会 仁明会病院

〒662-0001 兵庫県西宮市甲山町53-20
 電話：0798-71-3001 Fax:0798-72-6004

医療法人財団樹徳会 上ヶ原病院

〒662-0884 兵庫県西宮市上ヶ原十番町1-85
 電話:0798-52-2001 Fax:0798-54-5176

●編集後記

新型コロナウイルスの流行はその前後で、巨大な影響を世界に与え続けています。その影響下で開催された東京オリンピックはコロナ後初の大会となりました。
 私達はコロナ前の世界へノスタルジーを抱きつつも、コロナ後の世界を生きていくことになりました。この大会が、世界がコロナという大きな困難を乗り越えていく一つの指標として、語り継がれていくことになれば、と願うばかりです。

●ご意見・お問合せ

大村病院広報委員会 ohmura@ohmura-hp.net

大村病院広報誌 樹光 (じゅこう)

2022年4月1日 発行 vol.31

発行 医療法人樹光会大村病院

編集・制作 広報委員会